

「今の暮らしは、主人と母のおかげ

好きなことを、好きなだけ楽しむ」

松野 美千穂さん(80歳・平成24年入居)



今回お話を伺った
松野 美千穂さん

今回はご入居されて3年目の松野美千穂様(80歳)にお話を伺いました。

義母から受け継いだ時計店

お見合いで結婚した主人は、当時、守口で義母の時計店を継いでいました。義父はサラリーマンでよい人だったけれど、お酒を飲むとダメだったらしくて。それで義母が頑張ろうと思つて、昭和4年に小さな店から始めたそうです。商店街の入口で場所もよく、松下や三洋といった大きな会社がまとめて買つてくださったりして、時計の他にも眼鏡や宝飾品も扱っていました。私もお客様の相手をしたり、主人に厳しく注意された店員を慰めたりと『優しい奥さん』として手伝っていました。

59歳の時、主人がガンで急逝しました。私が気づいてあげられなくて：悔やんでも悔やみきれません。体調が悪いと言いついてから、たった3ヶ月でした。何もわからないままお店を引き継ぎ、私がすべての責任を負う立場になりました。『優しい奥さん』ではいられなくなり、厳しいことも言わなければなら

りませんでした。閉めてしまおうかとも思いましたが、長く働いてくれた店員の仕事をなくすわけにはいかないと、頑張つて続けました。

70歳で習いはじめた

憧れのヴァイオリン

主人の十三回忌が終わつてすぐの頃、カルチャースクールの広告に「ヴァイオリンを体験してみませんか」と小さく書いてあるのを偶然見つけました。ヴァイオリンは子供の頃から憧れていました。弾いている姿、音色、全部が魅力。戦時中は習いに行く所なんてなかったですし、結婚後に主人に話した時にも反対されてそのままになっていました。でもその時はなんだか主人が「もういいよ」って言つてくれていた気がして、すぐに教室に電話しました。

習いはじめて11年になりますが、まだまだ難しいですね。教室の練習は月2回ですが、先生の別のレッスンを西宮でも受けているので、月6〜7回は



ご愛用のヴァイオリンと
発表会の白いドレス

通っています。午前中が他の方との合奏で、お昼休憩挟んで午後から個人レッスン、という日も。宿題も出ますよ。一昨年の発表会は皆さんに誘われてロンドンドレスで出ました。目標にしていますが、ずっと続けて下さい、と言われて嬉しかったです。

やりたいことがたくさん！

今がいちばん元気

他にもいろいろ好きなことをしています。市民体育館の体操教室は、20年以上続けています。終わった後、仲良しグループでお茶をしながらお喋りするんですよ。それが楽しみというところもありますね。また駅前のNHKカルチャーセンターでは古典講座を二つ受けてます。今やっているのは源氏物語と徒然草。学生の頃は古典なんて：と思つていましたが、今はどうしてもしっかり勉強しておかなかつたんだろう！と思います。他にも面白そうな講座があるのでありますが、他のことと時間が重なつてしまつてなかなか行けないんです。

子供の頃は体が小さく、病気がちで学校もよく休んでいました。その分今が余計に元気なかもしれません。人生釣り合いが取れるようになっていくんじゃないかしら。今は何不自由なく好きなことを自由にさせてもらっています。これも主人や義母のおかげやと思つて、お仏壇は毎日拝んでいます。